

令和 3 年度事業計画書

基本方針

近年、少子化や核家族化に加え、急速な情報化や多様な働き方、物の豊かさや利便性が優先される傾向を受け、家庭での親子や地域の人と人とのつながりの希薄化、それによる子育て中の親の不安感や孤独感など、子育て環境はめまぐるしく変化しています。さらに、昨年2月から急速に拡大した新型コロナウイルスにより、当たり前だったこれまでの生活は一変し、新しい生活様式が求められ、子どもだけではなく大人も日々不安やストレスを抱えるなど、社会生活への影響が問題になっています。

このような状況だからこそ、ぐんまこどもの国児童会館では、基本理念である『こどもファースト!』のもと、子どもの気持ちに寄り添いながら、少しでも楽しい時間を過ごしてもらえよう、安心して過ごせる場所とわくわくする空間と時間、そして大人もホッとできる場を提供すると共に、県内唯一の大型児童館として、地域における子どもの健全育成の環境づくりに努めます。

併せて、当館の設備や機能の更新等これからの施設のあり方について、群馬県とともに積極的な意見交換等により検討を重ねていきます。

【数値目標】

	令和3年度	令和2年度	
		目 標	見 込 み
入館者数	100,000人	330,000人	50,000人
プラネタリウム利用者数	15,000人	43,000人	10,300人
移動児童館利用者数	1,200人	4,800人	620人
実施事業の満足度	83%	83%	99%
館全体の利用者満足度	90%	90%	98%
ホームページ閲覧数	67,500アクセス	67,000アクセス	76,000アクセス

※令和2年4月1日から5月31日まで新型コロナウイルス感染拡大予防のため臨時休館。

6月1日から、利用制限を行いながら開館。

1 育成事業

(1) 企画事業 8, 265千円

児童会館の機能と特性を活かし、学校の長期休暇や県民の日等にあわせて、子どもから大人まで楽しめる体験型の大型イベントを開催します。また、コロナ禍における新しい生活様式を想定し、周辺の自然環境を活用した活動や自宅でも楽しめる遊びの提供へ新たに取り組む他、家族の絆をより密にするプログラムを実施します。

拡充	ゴールデンウィーク企画	4～5月	体験型の企画展の開催と児童福祉週間の啓発行事を開催する
	夏の特別企画	8月	幅広い年齢層の子どもや親子等が楽しめる話題性のあるイベントを開催する
	秋の特別企画	10月	県民の日やハロウィンにあわせて、趣向を凝らしたイベントを実施する
	冬の特別企画	12～1月	クリスマスからお正月にかけて季節感あふれるイベントを開催する
	春のこどもの国フェスティバル	3～4月	健全育成の視点にたち、子どもや親子等へ楽しさや喜びを感じてもらえる空間を提供する
新規	季節行事	2回	金山総合公園と共催で七夕やクリスマスを盛り上げるイベントを開催する
	こどもわくわく劇場	随時	アマチュア劇団や地域団体、学生等の活動発表の場を提供する
	こども観劇会	1回	プロの劇団等を招いて、良質な劇や音楽会を開催する
新規	家族でスマイルプロジェクト	1回	家族の密な時間を思い出に残すため、プロカメラマンによる写真撮影会等を実施する
新規	にこっとちゃんとあそぼう	1回	マスコットキャラクターと一緒に遊び参加者と交流を図る
新規	エンジョイ！おうち時間	1回	テーマを設け、講師による遊びの紹介や自宅でも楽しめる遊びを体験できる機会を提供する
新規	にこっと自然学校	1回	金山総合公園や周辺の豊かな自然環境を活用し、様々な遊びにチャレンジする機会を提供する
	アースデイ	1回	地球環境イベント「アースデイ」の趣旨に賛同し、体験型のブースを出展する
	おおた・まちの先生見本市	1回	地域貢献の一環として「おおた・まちの先生見本市実行推進協議会」が行う事業に出展する

(2) サイエンスワンダーランド 3, 660千円

科学展示室は、保育所や幼稚園、小学校などからの団体利用のほか、幅広い子どもたちの利用の場であり、日常点検や定期的な保守点検を通じ安全第一に運営します。

講座等においては、県内高校や地域団体の協力を得て、身近な現象から子どもたちに興味をつなげられるようなプログラムを提供します。

一般展示	通 年	常設展示
ハイビジョンシアター プチ映画館	通 年	土日祝日、長期休暇にＣＳ放送、ＤＶＤ等を放映する
プチサイエンスショー	随 時	身近な科学現象を題材にした実験ショーを実施する
スペシャルサイエンスショー	1 回	専門の講師を招いて科学実験ショーやサイエンスクリエイターによる実験ショーを行う
科学工作	随 時	高校生や地域団体による科学工作実験や、ものづくり体験を開催する
科学講座	2 回	専門講師による体験型講座を開催する
おもしろ科学教室	2 回	小中学生を対象とした科学教室を開催する
サイエンス集団利用	通 年	学校等の団体利用者に向けた科学工作・科学実験ショーを実施する

(3) スペースシアター 14, 639千円

プラネタリウム機能を最大限活かし、子どもから高齢者まで普段の生活の中では体験できない夢と感動を提供します。また、団体投影や一般投影については年代に合わせた番組とし、全国関係団体の会員との交流や情報交換から、幅広い年齢層が楽しみや癒やしを感じる空間を提供します。

拡充	プラネタリウム	通 年	幼児・こども・一般番組を上映する
	プラネタリウム特別企画	7 回	毎回テーマを設定し、特別なプログラムを投影する
	にこっとドーム	随 時	移動プラネタリウムにて星空解説等を行う
	おやこプラネタリウム	2 回	乳幼児親子を対象とした手遊び等特別プログラムを実施する
	こどもの国スターフレンド	4 回	プラネタリウムの解説と実際の星空の観察会を開催する
	プラネタリウム団体投影	通 年	星空の生解説と学年にあわせた学習番組を実施する
	星空掲示板	通 年	季節ごとの天文に関するトピックスや愛好家の天文写真等を掲示し、情報発信する

(4) クラフトルーム 755千円

身近にある自然素材、リサイクル素材など様々な素材を用い、いつ来ても違う工作が楽しめるプログラム提供を行います。

自由利用プログラム	8プログラム	身近な素材で幅広い年齢層に対応したプログラムを提供する
季節プログラム	7プログラム	季節行事に合わせた工作プログラムを提供する
チャレンジクラフト	5回	制作過程の多いプログラムを教室形式で実施する
クラフトルーム集団利用	通 年	学校等の団体利用者に向けたプログラムを提供する

(5) プレイルーム 420千円

自由利用では就学前までの子どもがそれぞれの発達段階に応じた遊びが出来るよう遊具を配置します。また、「わいわいひろば」は、小学生を中心とした、児童向けの遊具をそろえ家族や友達同士で楽しめる交流の場とします。

自由利用プログラム	7プログラム	年齢に応じた遊具を提供する
わいわいひろば・だんらんひろば	通 年	家族や仲間同士で楽しめるふれあいの場として開放する
プレイルーム集団利用	通 年	幼稚園等の団体利用者に向けたプログラムを提供する

(6) ビデオライブラリー 141千円

幼児から青少年に向けた優良なDVDソフトの視聴を通して、豊かな感性を育みます。映像を「観る」だけに留まらず映像の仕組みを学び、あそびまで発展できる講座を実施します。

自由利用	通 年	好きな番組を選び自由に視聴できる場を提供する
わくわく映像教室	1回	小麦粘土等でこまどりアニメを製作する

(7) パソコンルーム 580千円

年齢や興味に応じて選択できる自由利用プログラム運営のほか、パソコンで作成した子どもの作品や「お名前シール」などをプリントし提供します。新たにタブレットPCを活用し、プログラミングにより、動きを加えるロボット制作も実施します。

拡充	自由利用	通 年	学習ソフト、ゲームソフトの利用の場を提供する
拡充	プリント工房	12回	パソコンで製作した作品を提供する
新規	パソコンプログラミング体験	1回	コンピューター技術を活用しプログラミング体験の場を提供する

(8) こども図書室 245千円

絵本や児童書の他、漫画を配架し、子ども達に本や読書に興味関心をつなげるようにするとともに、幼児から大人まで誰もが利用しやすい場所を提供します。

自由閲覧	通 年	月刊誌、絵本、児童書、育児書等を提供する
絵本の読み聞かせ	1 回	絵本の読み聞かせを行う
自転車紙芝居	1 回	公園等で紙芝居の上演を行う
絵本でEnglish!	1 回	英語絵本の読み聞かせと英語遊びを実施する
絵本のワークショップ	1 回	絵本の読み聞かせと、その絵本にちなんだ工作を行う
図書室集団利用	通 年	団体利用プログラムによる絵本の読み聞かせを実施する

(9) 子育て支援事業 240千円

子育てに関心あるプログラムを取り入れ、親や祖父母などと一緒に活動ができる場を提供するとともに、周辺の自然環境を利用した事業を実施します。

おたんじょうてがた	1 1 回	乳幼児の親子向け、成長記録に役立つ作品として提供する
にこにこサロン	1 1 回	乳幼児向けの親子遊びや季節に応じた外遊びを実施する
子育てママのいきいきタイム	4 回	子育て中の母親に向けた育児の一助となる講座やリフレッシュできるプログラムを実施する
パパとenjoy!	1 回	体験活動を通して父子がふれあい、楽しむ場を提供する
食育事業	1 0 回	金山総合公園と共催の稲作体験や専門の講師を招いた講座、明和学園短大の先生方などを招いたイベントなどを実施する

(10) 子育て・子どもの居場所事業 529千円

子ども同士が同年齢や異年齢、家族と交流する中で、様々な活動ができる機会を提供する他、屋外での活動を積極的に推進し、職員がプレーワーカーとして遊びを支援します。

あそぼうタイム	5 回	講師やプレーワーカーと共に異年齢の子同士が集団ゲームや野外活動などを楽しむプログラムを提供する
中高生と乳幼児ふれあい事業	1 回	中高生が乳幼児との遊び等を学び実践する場を提供する
あそぼー広場	随 時	多目的ホール等館内のスペースを有効活用し、遊具や玩具を配置して様々なあそびを提供する
カプラであそぼう	通 年	全国カプラ大会への作品応募や参加型ワークショップの開催、自由遊びの場を提供する
スポーツ教室	2 回	専門の講師を招いた陸上教室やバスケ教室などを実施する
とことん外で遊び隊	3 回	金山総合公園内でプレーワーカーを配置し定期的なあそび場を開催する
集団利用	通 年	カプラで共同製作の楽しさを体験できる場を提供する

2 推進事業

(1) 児童館活動促進 2,125千円

県立大型児童館として地域児童館と相互連携し、子育て環境の充実や児童健全育成の推進を高め、児童館活動の活性化につなげます。児童館フェスティバルは、参加者の安全を考慮し、開催方法を検討し実施します。

群馬県児童館連絡協議会	通 年	県内児童館との連携提携を図り、児童館の情報収集・職員研修等を行う県児連を運営し、児童館活動を推進する
児童厚生員等研修会	4 回	児童厚生員、児童クラブ指導員等の資質向上を図るため、7科目 理論と実技科目の研修会を実施する
児童館長研修会	1 回	児童館長の資質向上を図るための研修会を実施する
児童館職員交流会	1 回	児童館職員で意見交換や情報等の共有を図る
群馬県内児童館フェスティバル	1 回	県内児童館が一堂に会し、遊びや活動成果を発表する。状況に応じてリモートでの開催検討する
児童健全育成講演会	1 回	一般及び児童健全育成関係者を対象に有識者を招き、講演会を開催する
児童館紹介・パネル展	通 年	県内児童館の紹介パネル・月間だよりを館内に掲示する
遊具等貸出	随 時	県内の児童館や児童クラブ、健全育成関係団体等に遊具やDVD等を貸し出す

(2) ネットワークづくり事業 835千円

県内の子育て支援関係団体と連携し、プレーバス巡回（移動児童館）により、地域の子育ちと子育ての支援を行います。

プレーバス巡回（移動児童館）	通 年	県内各地に巡回し、遊びのプログラム等を提供する
児童劇団等の登録・派遣	通 年	県内の優良劇団の選定する
	6 回	登録劇団等の鑑賞事業・遊びの出前を派遣する

(3) 組織化事業 714千円

定例会議を開催し、施設ボランティア同士が連携し、自主企画を運営する体制となるよう促すと共に、自主企画を実施することでイベントの充実を図るほか、ジュニアスタッフでは、ボランティア体験を通じた社会参加活動を促進し、継続的なボランティア活動となるジュニアスタッフを養成します。また、地域の子育て支援関係団体との連携を深め、子育て支援の課題を共有し組織力の充実を図ります。

ボランティア運営	通 年	定例会議や事業への協力、養成講座を行い、施設ボランティアの増加に努める
ボランティア活動促進	通 年	活動成果の場を提供し、「おもちゃの病院」等自主企画の促進を図る
ボランティアまつり	1 回	登録ボランティア、ジュニアスタッフ合同で、活動の発表等を行う
ジュニアスタッフ養成	通 年	小・中・高校生世代を対象に、子ども達の主体性を尊重した活動を通じて、ボランティア活動の意識向上を養う
ぐんま地域活動連絡協議会連携事業	通 年	母親クラブフェスティバルや親子のつどいを共催する
地域子育て支援者講習会	1 回	子育て・子育て支援技術を有する人材を養成するための講習会を行う

(4) 調査研究事業 447千円

障がい児・者への理解を深めるとともに、利用しやすい児童館づくりを目指します。また、遊びのプログラム開発を行い、館内利用者を対象に実施します。

サービス向上委員会では、各種アンケートにより利用者の実施事業の評価やニーズを把握し、事業への反映や充実に努めます。

障がい児・者利用促進プロジェクト	通 年	障がい児・者が利用しやすい児童館づくり検討する
遊びのプログラム開発・普及プロジェクト	通 年	遊びのプログラム開発を行い、館内利用者へ提供する
サービス向上委員会	通 年	各種アンケートにより利用者ニーズの把握等を行い、事業の充実や環境整備を図る

(5) 児童文化推進事業 1,867千円

情操を育む機会や国際交流団体との連携により身近な異文化に触れる機会を提供し、子どもの創造的な文化活動の充実に努めます。

ぐんまこどもの夢大賞	募集	1 回	子どもたちが「夢」を描いた絵画作品と、童話作品を募集する (群馬県と共催)
	入選作品展	2 回	入選作品を児童会館と群馬県庁で展示する
多文化交流事業		通 年	外国文化の多様性に触れるため、図書紹介やイベントを開催する

(6) 子育て相談事業 291千円

子どもに関する育児の悩みや不安、生活習慣上の問題、子どもの発達などについて、来館または電話により相談に応じます。

こども・子育て相談室	電話相談等	通 年	一次相談窓口として職員による来館・電話による相談を受ける
	専門員相談	12 回	臨床心理士や保健師による来館相談を事前予約で受ける

(7) 広報啓発事業 2,383千円

当館の魅力や各事業、子育てに関する情報を多様な広報媒体や地域との連携により継続的に発信していきます。また新たに、電子受付システムを機能に加えたホームページのリニューアルを行う他、自宅でも児童会館の遊びが体験できる動画の制作や携帯アプリの普及に努めていきます。

拡	ホームページの運営	通 年	電子受付システムを備えたリニューアルを行う他、引き続きイベント情報や県内児童館情報を発信する
	インフォメーションの発行	通 年	紙媒体でイベント情報を発信する
	「にこっと通信」発行	4 回	機関誌として子育て情報を発信する
拡	出張！にこっとちゃん	1 回	にこっとちゃんが地域に出向き、ふれあいやPRをする

新規	郵便局連携事業	1回	地元郵便局と連携して子どもたちへ日本の伝統文化を伝える機会を提供する
	にこっとちゃんと写真を撮ろう	2回	にこっとちゃんとの写真撮影会を実施する (金山総合公園と共催)
	誘客キャンペーン	2回	こどもの国の認知度アップを図るため、にこっとちゃんを活用して利用者増加を目指す (金山総合公園と共催)
	オレンジリボンキャンペーン	11月	児童虐待防止推進月間にあわせて取り組むことで来館者への意識啓発活動を行う
	にこっとちゃんねる運営	通年	YouTube公式チャンネルを通じて、遊びのプログラム等を発信する
	携帯アプリ普及キャンペーン	2回	当館オリジナル携帯知育アプリ「にこっとちゃんとあそぼう！」の体験会を実施する
	事業年報の発行	1回	年間実績報告書を作成し、関係機関へ送付する

3 その他の事業

貸出事業

県条例に基づき、多目的ホール及び研修室の貸出しを行います。

4 管理運営

(1) 法令等遵守

県各種法令を遵守するとともに事業団の各種規程等に則り、県民に対して説明責任を果たします。また、業務遂行上改正を要する内部要領等は指導機関等の助言を受け、適宜見直しを行います。

(2) 施設設備維持管理

来館者が安心して気持ちよく利用できるよう、設備の保守管理はもとより日々の施設内点検・清掃等を通じ、安全性を優先した管理に努めます。

修繕等が生じた際は、利用者の負担を最小限とすべく迅速な処置に努めるほか、群馬県と協議を図りながら計画的な設備の更新を図ります。

(3) 人材育成

職員の資質向上にあたっては、職務に必要な専門知識にとどまらず、事業団職員として必要な識見の涵養のため、職場内研修をはじめ外部団体等が実施する研修会へ参加するほか、他の職員との共有に努めます。